

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害者（児）日中一時支援			事業番号	011-147
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害福祉サービス 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	② 障害者の暮らしの場の確保				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画		
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者総合支援法第77条、堺市障害者日中一時支援事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	身体障害者・知的障害者・精神障害者・障害児	対象数	単位
			2,071 (R4.2月現在)	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者（児）の日中活動の場の確保及び家族の就労、一時的な休息の取得に寄与することにより、障害者（児）が地域で生活していくことができる環境を整える。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	本市に登録している指定短期入所事業者が日中活動の場として、宿泊を伴わない短期入所（日帰りショートステイ）サービスを行う。 利用料は原則1割負担。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)			
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	障害者（児）の日中活動の場の確保及び障害者等及びその家族の福祉の向上					
	当該目標を設定した理由	本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。				
	目標に対する実績	延べ日数5,077日 (目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	サービス提供人数	人	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	—	—	—
			実績値	1,108	959	
達成率	—	—				
	当該指標を選定した理由	事業の全体量を把握するのに最適な指標のため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	延べ利用者数 (目標値を設定していないのは、本事業は要件を充足すれば対象者へサービスを提供する制度であり、その事業の特性上、数値化した目標の設定は困難であるため。)				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者（児）日中一時支援	事業番号	011-147
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	50,875	42,960	47,153	38,200	44,288
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	50,875	42,960	47,153	38,200	44,288
14 人件費 (b)	1,620	1,640	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	52,495	44,600	48,793	39,840	45,928

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	障害者（児）日中一時支援	R3 決算	38,200	38,200	R3 決算		
		R4 予算	44,288	44,288	R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		
		R3 決算			R3 決算		
		R4 予算			R4 予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① サービス提供回数	日	5,660	5,077
② 上記①にかかる年間経費	千円	44,600	39,840
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	7,880	7,847
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 本事業は、障害者及び障害児の日中における活動の場を確保及び家族の就労、一時的な休息の取得に寄与することにより、障害者等が地域で生活していくことができる環境を整えるものであり、費用については、障害者等の社会参加や介護に係る家族の方等の負担軽減に繋がっていることを考慮すると、妥当なものであると考える。令和3年度は、コロナ禍での外出自粛の影響でサービス提供回数や年間経費は減少している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 障害者や障害児の日中活動の場としての確保や障害者（児）の家族の一時的な休息の取得等を通じて、障害者の暮らしの場の確保、障害者及びその家族に対する支援の促進に寄与している。